



統計スポット情報

No. 140

H19. 12. 26

福井県総務部政策統計課

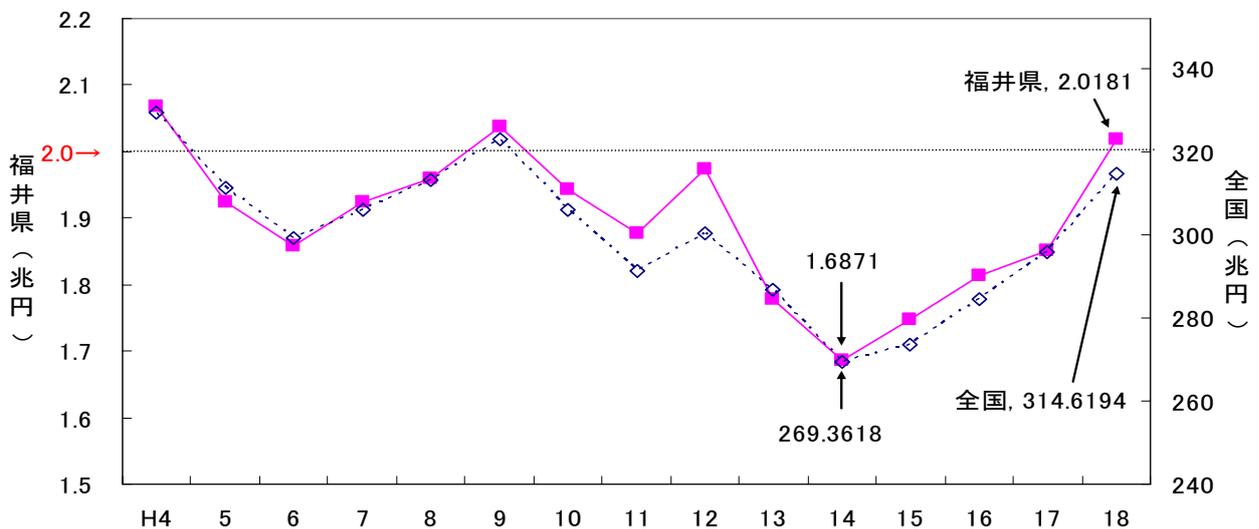
製造品出荷額等が4年連続で増加 ～電子部品が大きく寄与～

平成18年工業統計速報によると、本県の製造品出荷額等、粗付加価値額が、ともに4年連続の増となりました。今回は、工業統計（※1）から、本県製造業の業種別の動向を見てみましょう。

◎ 製造品出荷額等が9年ぶり2兆円超え

本県の従業者4人以上の事業所の製造品出荷額等の推移を見ると、平成14年を境に翌年から増加に転じ、平成18年には9年ぶりに2兆円を超えました。全国の推移も、同様の動きをしていることがわかります。（図1）

図1 製造品出荷額等の推移 -4人以上の事業所-



◎ 携帯電話や薄型テレビに使われる「電子部品」、医薬品などの「化学」が大きく寄与

平成18年の本県の製造品出荷額等は、長期的推移の転換点となっている平成14年に比べ19.6%増となっています。この間の出荷額等の変化に、どの業種がどれだけ影響を与えているのでしょうか。横軸に平成14年時点の構成比、縦軸にその間の増加率をとって、業種別寄与度を見てみます。各業種の寄与度は面積で表されます。これを見ると、「電子部品」や「化学」の寄与が大きいことがわかります。（図2）

同様に、全国の出荷額等の平成14年から平成18年までの変化（16.8%増）の業種別寄与度を見ると、「輸送機械」「一般機械」「鉄鋼」「石油・石炭」が大きいのが特徴といえます。（図3）

製造品出荷額等(平成14年～平成18年)の増加寄与度(%)

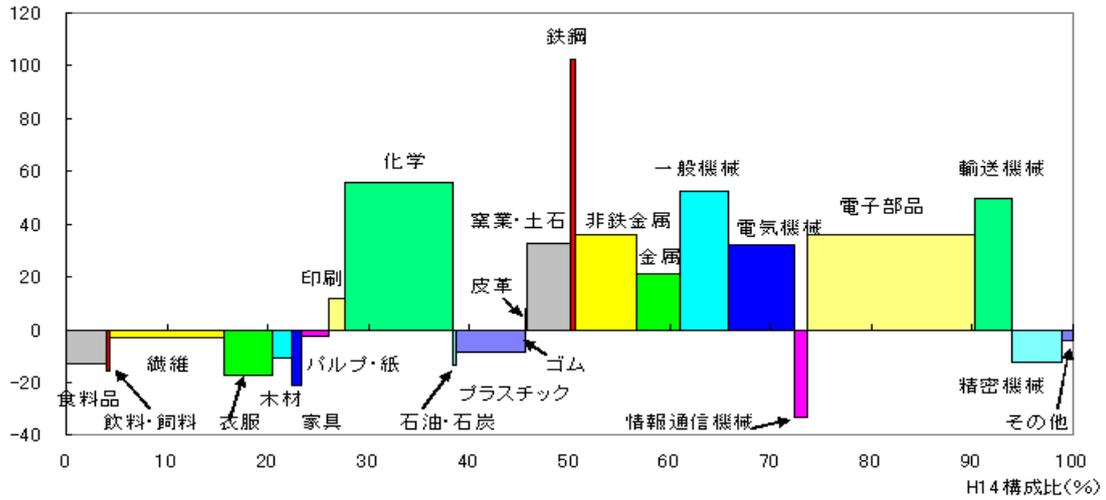
	食料品	飲料・飼料	繊維	衣服	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム
福井県	▲ 0.53	▲ 0.06	▲ 0.34	▲ 0.79	▲ 0.21	▲ 0.24	▲ 0.07	0.19	5.97	▲ 0.03	▲ 0.58	▲ 0.00
全国	▲ 0.17	▲ 0.38	▲ 0.11	▲ 0.24	▲ 0.05	▲ 0.04	0.01	▲ 0.24	1.22	2.27	0.66	0.15

	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	一般機械	電気機械	情報通信機械	電子部品	輸送機械	精密機械	その他	全体
福井県	0.00	1.43	0.47	2.15	0.95	2.50	2.11	▲ 0.42	6.04	1.76	▲ 0.63	▲ 0.05	19.62
全国	▲ 0.03	0.03	2.77	1.24	0.26	2.85	0.67	0.04	1.40	4.38	0.19	▲ 0.06	16.80

(裏面へ続く)

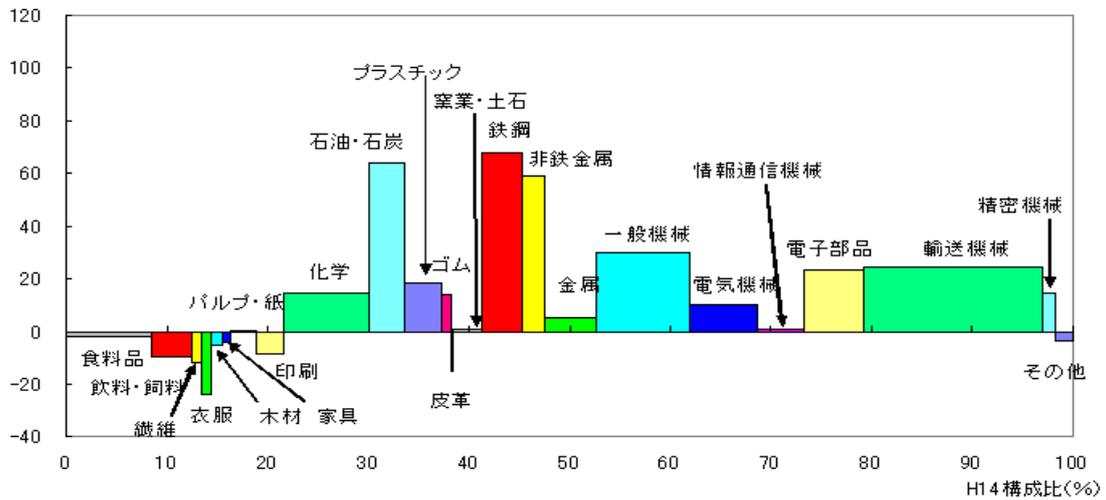
H14～H18 増加率(%)

図2 製造品出荷額等の変化の業種別寄与度 [福井県] - 4人以上の事業所 -



H14～H18 増加率(%)

図3 製造品出荷額等の変化の業種別寄与度 [全国] - 4人以上の事業所 -



品目別の出荷金額で本県の上位3品目(※2)は、「固定コンデンサ」「その他の電子部品」「医薬品製剤(医薬部外品製剤を含む)」(※3)です。これらの近年の出荷金額の推移を見ると、いずれの品目も毎年増加し、全国順位も上昇してきています。(図4)

このうち「固定コンデンサ」の出荷金額は、対全国構成比13.2%で、秋田県に次いで全国第2位となっています。(図5)

「固定コンデンサ」とは、電気を蓄える機能を持った電子部品で、携帯電話、パソコン、薄型テレビなどのデジタル家電に多用されています。

図4 出荷金額の推移(平成17年の上位3品目)

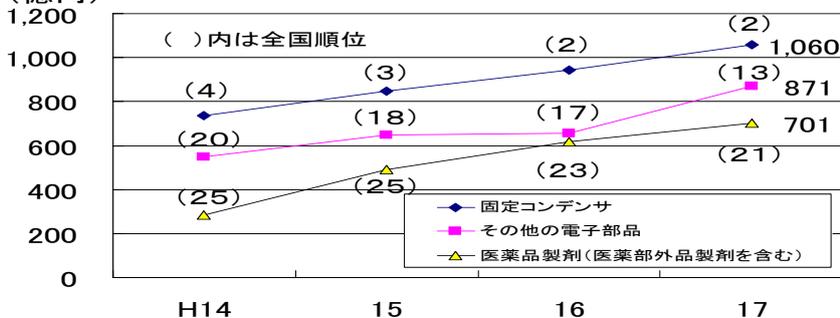
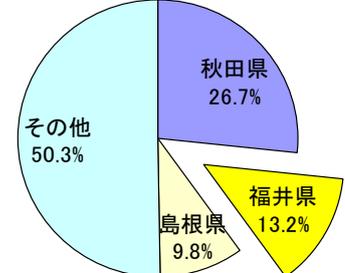


図5 固定コンデンサ出荷金額の都道府県別構成 平成17年 - 4人以上の事業所 -



※1 工業統計調査は、製造業を主業とする事業所を対象に、毎年12月31日現在で実施しています。なお、ここに掲載している平成18年の数値はいずれも速報値で、後日に経済産業省の公表する数値が確定値となります。

※2 平成18年の品目別出荷金額は未集計のため、平成17年の上位3品目です。

※3 「固定コンデンサ」「その他の電子部品」は「電子部品」に、「医薬品製剤(医薬部外品製剤を含む)」は「化学」にそれぞれ分類されます。

この資料内容の照会は政策統計課商工統計グループ(電話 0776-20-0272)へ御連絡ください。